

# 令和元年度学校目標

平成 31 年 4 月 26 日設定

視点	4 年間の目標 (平成 29 年度策定)	1 年間の目標	取組の内容	
			具体的な方策	評価の観点
1 教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 生徒の学習意欲を高め、進路実現に応える教育課程編成や組織的な授業改善に取り組む。</li> <li>② 在県外国人の校内支援体制を構築する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 生徒が主体的、より深い学習に向け、向上心とともに学習に取り組めるよう授業改善に取り組む。</li> <li>② 在県外国人に対して恒久的な学習や学校生活の支援体制を整備する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 全年次で夏期講習を実施する。研究授業を行い、組織的な授業改善をさらに進める。</li> <li>① 新学習指導要領への円滑な移行に向けた教育課程の検討をすすめる。</li> <li>② 在県外国人支援チームを核としてグループ・学年にまたがった支援体制を構築する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 夏季講習開講数 50%増の 30 講座、200 人とする。授業評価の結果生徒の授業満足度平均を 3.5(4 段階)以上とする。新学習指導要領への移行を備え教育課程の研究や検討を行う。</li> <li>② グループを越え在県生徒を支援し、3 年次は希望に応じた上級学校への進学 80%の進路実現をする。</li> </ul>
2 生徒指導・支援	<p>基本的な生活習慣の確立と身だしなみの指導を徹底するとともに、生徒一人ひとりの課題に応じた支援体制の充実を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 遅刻防止指導や身だしなみ、授業への取り組みの指導等を行い生徒の規範意識の醸成を図るとともに、集団活動を通して社会性の涵養を図る。</li> <li>① 課題を抱える生徒の早期の把握と支援体制の構築を進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 生活習慣ルールについて、教職員・生徒共に共通理解を深め、ぶれのない指導体制を作る。</li> <li>① 各集会で啓発活動を強化し、生徒の規範意識を高める。</li> <li>① 年次会、生徒情報交換会等での情報共有を深め個別のケースに応じてスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーを積極的に活用する。</li> <li>① 盗難対策を万全にして問題行動を事前に抑制する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 生徒・教職員の規範意識を高める為の防犯・生徒指導。研修を行ったか。</li> <li>① 生徒の理解の上で、時間厳守、挨拶励行、服装頭髪マナーの向上等を図り、指導対象を 50%減らすことができたか。</li> <li>① 適切な情報共有を行い、年 4 回以上の情報共有機会により効果的な支援の体制を組み立てることができたか。</li> <li>① 盗難の撲滅を図り、盗難件数がなくなるよう努めたか。</li> </ul>
3 進路指導・支援	<p>外部の教育力を活用し、「進学を重視した学校」として生徒の進路指導の充実を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 適切な進路情報の提供とキャリア支援により、より高い進路指向を目指させるとともに、体系的な指導体制を構築する。</li> <li>① キャリガイダンスルームの整備と外部教育力を活用した相談体制の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 総合的な学習の時間・総合的な探究の時間の中で、進路講演会（各年次）や分野別講演会の外部教育力を通して、進路意識を高め、より良い進路選択をする機会とする。</li> <li>① 大学入学共通テストに向けて、2 年次生の意識を向上させる取り組みを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 大学・短大進学率を前年比 15%以上、80%を目標とし、総合的な学習の時間等で、進路意識を高めることができたか。</li> <li>① 全国模試において、校内平均偏差値が前年度比 5 ポイント以上上昇したか。</li> </ul>
4 地域等との協働	<p>学校運営協議会制度の導入に向け、地域との連携・協働を進め、地域に信頼される学校づくりを進める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 地域貢献活動やボランティア活動等の推進を図り、交流活動を推進するとともに、学校の取組について外部への情報発信を活性化する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 清水ヶ丘ケアプラザ・保育園との合同避難訓練を生徒会と協働して行う。</li> <li>① 各種ボランティア活動の募集・紹介のポスターやピラ等を作成し、HR などで定期的に案内する。また、取組状況などを学校運営協議会と共有する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 生徒会との連携でケアプラザ・保育園との避難訓練を全生徒の参加で実施できたか。</li> <li>① ボランティアや貢献活動に対して全生徒が 1 回以上参加したか。又、任意の活動実績を増やせたか。</li> </ul>
5 学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 私費会計の適切な管理、運営を行う。</li> <li>② 定期テストや入学者選抜の際に事故防止に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 迅速で正確な会計処理を定着させ、事故防止と適正運用に努める。</li> <li>② 不祥事防止に努め、教職員全員の意識高揚を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 職員の不祥事防止に対する意識を高める</li> <li>② 各科で定期テストのチェックを強化する。</li> <li>② マニュアルを作成し計画的に事故防止に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 会計担当者会議を通じ意識を高めたか。</li> <li>② 適切な問題となっているか。必履修科目の共通テスト化ができたか。</li> <li>② 全職員理解のもと、事故 0 を達成できたか。</li> </ul>